

2022年度 千葉県栄養士会 研究教育事業部研修会(12月期)のお知らせ

年末のお忙しい時期の開催となりましたが、本年も新型コロナウイルス感染症に負けず Web(Zoom)で開催致します。12月期の研修会は、教員向けプログラムとなっておりますので、お時間の許す方は部分参加であっても構いませんので、ご参加の上、積極的な意見交換願えれば幸いです。

今回の研修会は、「Society5.0 社会における栄養士/管理栄養士教育」を目的に、「AI と管理栄養士業務の共存」と「with/after コロナ時代の教育-アクティブ・ラーニング-」をテーマに、2つフォーラムディスカッションを企画しました。千葉県下の栄養士・管理栄養士養成に携わる教員間で意見を交わし、もって、養成校教員としてのスキルアップの機会となればと考えております。

それぞれのテーマについて、話題提供として2題のご発表を頂いた後、自由に意見・情報交換をお願いしたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日時：令和4年12月17日(土) 13:00～16:35(12:45～入室可能)

会場：オンライン開催(Zoom/千葉県栄養士会アカウント)

プログラム：

13:00～13:05 開会挨拶 企画運営委員長(聖徳大学) 池本真二

13:05～14:45 第1部 パネルディスカッション[A]：AIと管理栄養士業務の共存

座長：多賀昌樹(和洋女子大学)

① 講演：プレジジョン栄養学時代におけるAI活用

株式会社リフラックス代表取締役社長 濱田憲一氏

② パネルディスカッション(濱田氏、並びに原 顯寛氏(ユニバーサルスタンダード代表取締役社長 CEO)、担当養成校教員)

意見交換の場：総合討論(30分)

14:45～15:00 (休憩)

15:00～16:30 第2部 パネルディスカッション[B]：with/after コロナ時代の教育-アクティブ・ラーニング-

座長：峰村貴央(千葉県立保健医療大学)

① 講演：ICTと地域活用による教室の中だけに閉じない学びの促進

城西大学薬学部医療栄養学科助教 君羅好史氏

② パネルディスカッション(君羅氏、並びに担当養成校教員)

意見交換の場：総合討論(30分)

16:30～16:35 閉会挨拶 企画運営副委員長(昭和学院短期大学) 高橋律子

参加費：無料

申込方法：<https://forms.office.com/r/cduSDv13H0> よりお申し込みください。

申込締切：2022年12月17日(土)当日も受け付けます。

問合せ先：(公社)千葉県栄養士会 研究教育事業部 Line 公式アカウント(登録は、栄養千葉, 142号, p.14を参照ください)、もしくは mail: shinji.3.ikemoto@gmail.com まで。



講演概要

第1部 パネルディスカッション[A]: AIと管理栄養士業務の共存

講演: プレシジョン栄養学時代におけるAI活用

株式会社リフラックス代表取締役社長

濱田憲一

AI時代が到来し、様々なサービスでAIが導入される時代を迎えている。栄養学においても、予防医療の実現可能性を高める「プレシジョン栄養学」への変換が求められている。「プレシジョン栄養学」の実現の為に、AI活用が適性であると思われる傾向がある。

では、AIとは何であろう？ AIとは、Artificial「人工的な」Intelligence「知能／知性」の略語であるが、実際には知能は無く、ビッグデータを元に知識を獲得することにより実用化が可能となる。そこから、「プレシジョン栄養学」の実現の為に、AIに知識を習得させた際に大切なのは、管理栄養士の個別に積上げた経験と知能であると考えている。まずは、「AIとは？」という視点から、将来を紐解くヒントを提供したいと考えている。

第2部 パネルディスカッション[B]: with/after コロナ時代の教育-アクティブ・ラーニング-

講演: ICTと地域活用による教室の中だけに閉じない学びの促進

城西大学 薬学部 医療栄養学科

きみら よしふみ

君羅好史

文字がびっしり詰まったビジーなパワーポイントスライドをひたすら提示し、教員が喋りまくるといふ授業では、学生たちの反応は乏しくなり、学びは促進されないはず。授業内でのインタラクティブなコミュニケーションを重視することで、学生からのリアクションを引き出し、学びを促進するICT活用授業の取り組みについてご紹介します。また大学の近隣地域と連携し、学生が大学から飛び出して学びを得る地域連携活動による学びの実践についてもご紹介します。